

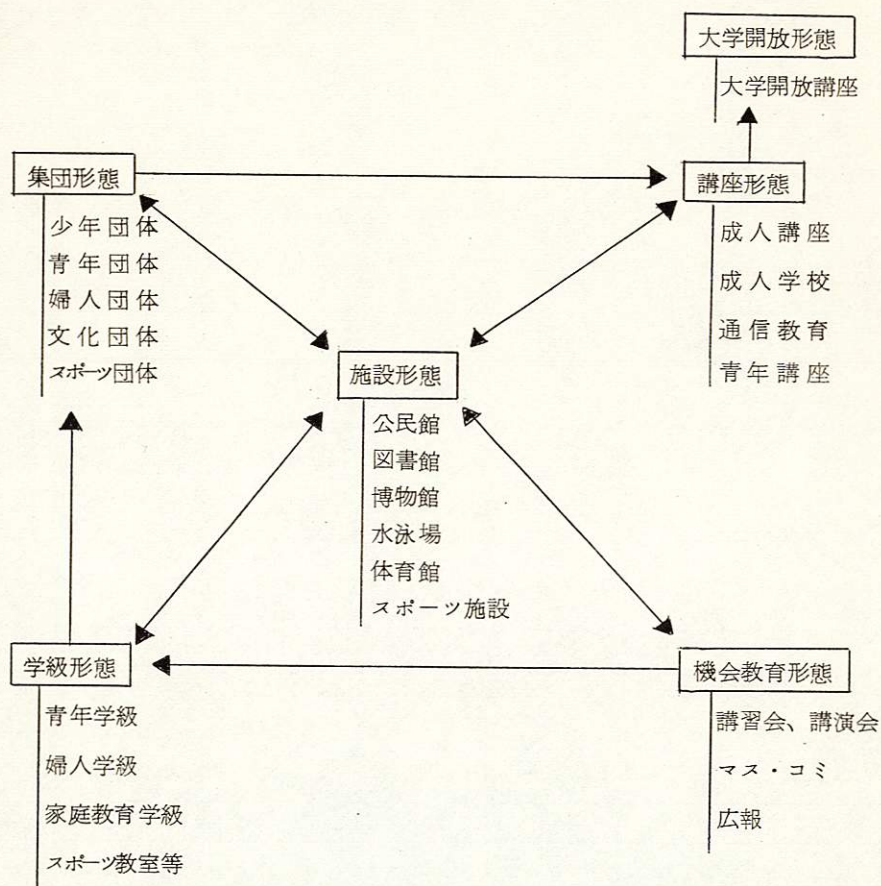
参 考 資 料

I 社会教育の方針参考資料

1 社会教育の方針参考資料

目 的	小 目 的	目 標	内 容 (方 法)
学習課題の顕在化 (学習すべきことを明らかにする。)	1 学習や集団活動の意欲をつける 2 学習の課題 (問題) を明確にする 3 学習や集団活動の方法を身につける	①住民とのコミュニケーション、(P・R)	a. 広報、回覧、新聞利用、他 b. 資料の刊行 (学習資料、活動内容、調査) c. 講演会、講習会、各種大会
		②学習、集団活動への参加の促進	a. 場 (機会) の設定 (開設機関) 青年学級 青年教室 婦人学級 家庭教育学級 スポーツ教室
		③学習、集団活動方法の提示	a. 学級形態の中で b. 指導者養成の中で
学習課題解決のための援助 (要求に応える。)	1 個人的、物的、機能的条件の整備	④集団活動の援助	a. 指導者研修 b. 助言、指導 c. 施設 (集会等) の提供 d. 教材、教員、資材 e. 補助金、その他
		⑤学習活動の深まりの場の準備	a. 場の設定 o 成人講座、等 (開設機関)

2 社会教育活動の発展形態



註 これらの諸形態は、前出 1 社会教育の方針参考資料 表中の 目標欄

- ① 住民とのコミュニケーション は 機会教育形態
- ② 学習、集団活動への参加の促進
- ③ 学習、集団活動方法の提示
- ④ 集団活動の援助 …………… は 集団形態
- ⑤ 学習活動の深まりの場の準備 は 講座形態 大学開放形態

に該当する。